



## 平成29年度第11回 製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）特別賞受賞

2017年11月16日 渋谷区文化総合センター

経済産業省が「製品安全文化」の定着と、安全・安心な社会の構築のため、積極的に取り組んでいる企業を表彰しているPSアワードで、消費者行政充実ネットちばが団体部門特別賞を受賞しました。取り組んできたリコールキャンペーンが評価されたものです。

受賞のポイント

### ●対象層に合わせたリコール対象製品の発見に向けた取組



千葉県内の自治体等と連携し、子育て支援施設、高齢者施設等の利用者、老人会等の地域組織のメンバー等に対し、リコール製品の紹介とその有無を問うアンケート調査を通してリコール製品の発見を目指すリコールキャンペーンを実施している（リコール製品を列挙した約4000枚のアンケートを配布）。アンケート配布の対象層に応じてリコール対象製品の絞り込みを行うとともに、消費者と「顔の見える関係」である地域組織を利用することで、リコール情報を確実に消費者に伝えるよう工夫している。

### ●リコール制度の消費者への啓発

消費者等の安全を確保するには、リコール情報を発信し、リコール製品の回収を行うことが重要ととらえ、リコール対象製品の周知やアンケートを行うことにより、地域住民にリコール制度全般にわたる見識を広める活動を展開している。

### ●行政・地域団体と連携した取組の推進

行政や地域団体の関係者と消費者行政の充実強化に向けた取組を行う中で、リコールに対する取組についても事業者だけでなく地域の消費者団体や行政との連携が求められるのではないかと発想に至り、地域ぐるみでの製品安全の問題に取り組んでいる。



## 消費者行政活性化シンポジウム実施自治体との意見交換会 野田市

2017年11月24日

消費者行政充実ネットちばでは野田市と協力し、平成23年1月に「住みよい野田市にするために～世代と地域を超えた見守りある消費者問題の解決を～」をテーマにシンポジウムを開催しました。

シンポジウム後、野田市では平成24年3月に「野田市消費者行政連絡会」を設立し情報共有を行ったり、毎月の市の公報に相談事例や注意喚起についての記事を掲載したり、自治会等の班回覧で「消費者ミニ情報」を発行して回覧したり、市民へのお知らせメールである「まめメール」で「消費生活」の分野を追加しトラブル情報の配信を行うなどシンポジウムの提言の実行に努力されています。買い物弱者への対処は移動販売車「まごころ便」の運行も実現しました。地域連携の構築に向けた取り組みについては、消費者行政連絡会を年1回実施しているものの、日常的な連携というものはなかなか難しい様子です。しかし、他の自治体では縮小傾向にある、消費生活モニターを20名委嘱し、消費生活展、市主催のセミナーに参加、年1回の視察に参加などの活動をしてもらい、周囲への情報提供等にも取り組んでもらっているとのことでした。

消費者安全確保地域協議会の設置については未定です。充実ネットちばからは連絡会の構成団体を見直し、協議会へと発展させること等を提案させてもらいました。地域で活動する人材育成の取組については、消費生活出前講座の実施や県の実施する消費生活サポーター養成研修の市報での周知などをされているということでした。